

東日本大震災支援策と 今後の取り組み

ソフトバンクグループ

 SoftBank

2011年3月11日 14時46分

東日本大震災



目次

①ネットワーク対策について ...2

②被災地支援について ...11

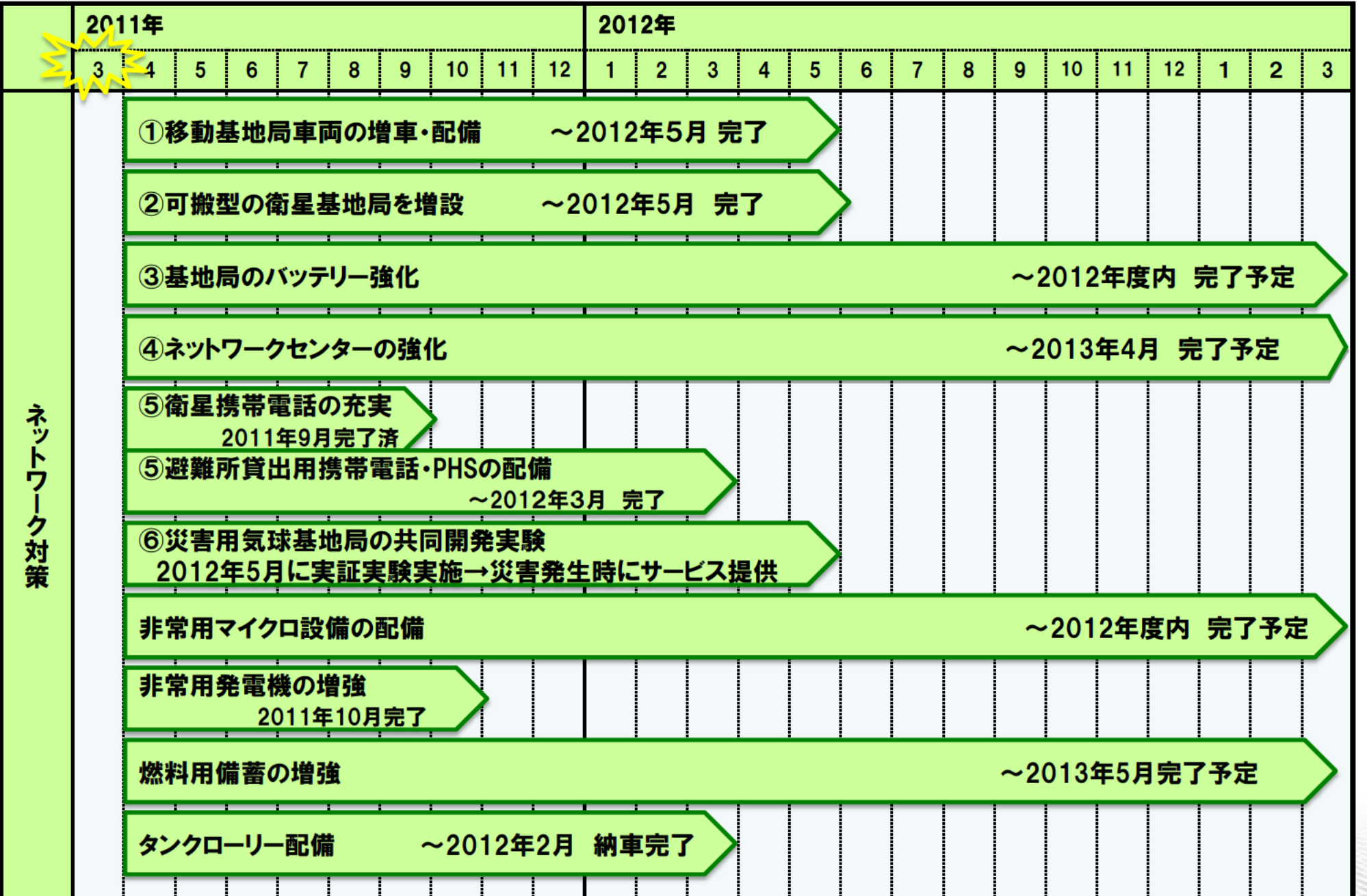
③復興支援財団 ...20

④災害時利用サービス ...27

⑤法人向けBCP対策サービス ...29

長期的なネットワーク対策一覧

災害に強いインフラを、全社をあげて構築中



①主なネットワーク対策について

1. 移動基地局車両の増車・配備

2. 可搬型の基地局を増設

3. 重要カバー基地局のバッテリー容量強化

4. ネットワークセンター強化

5. 緊急時・災害時の通信網整備

6. 気球基地局の開発実験

1. 移動基地局車両の増車・配備

総所有台数 15台 → 100台

※ 全国拠点へ配備完了



乗用車タイプ



商業車タイプ



トラックタイプ
(電源車併用) SoftBank

2. 可搬型の基地局を増設

人工衛星経由で通信可能な可搬型の
基地局を**200台**配備

※全国拠点へ配備完了



直置きタイプ（100台）



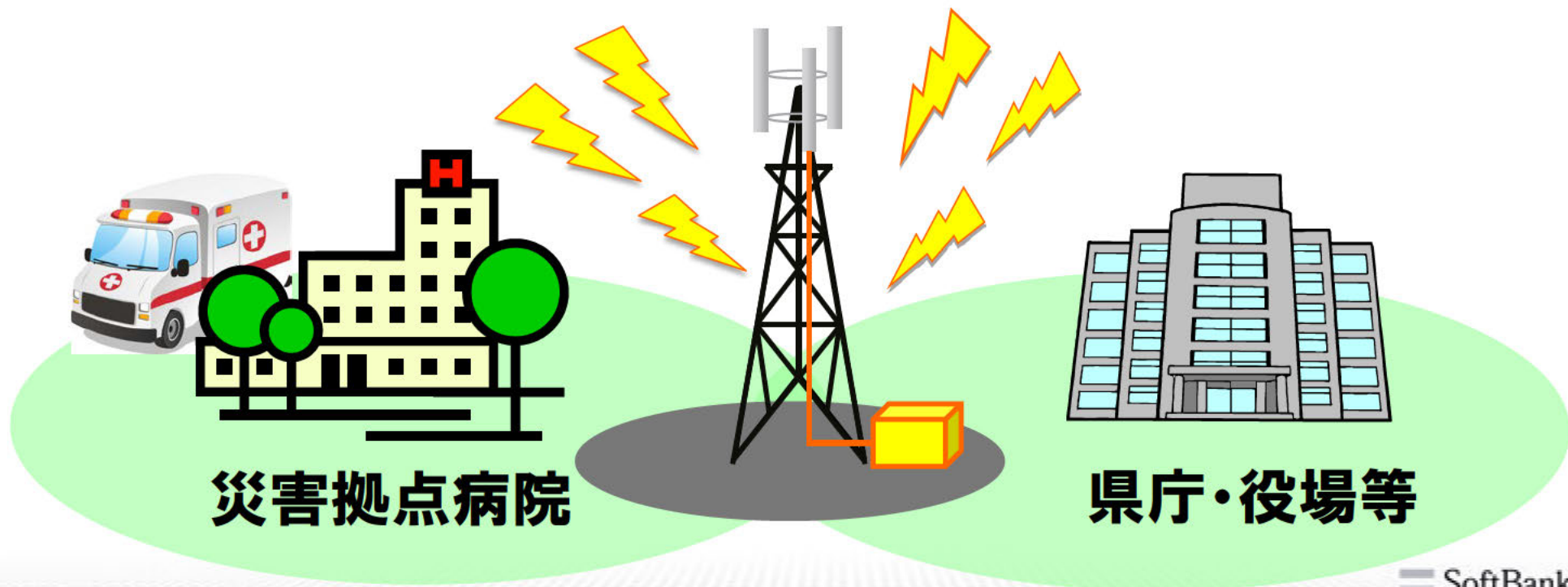
車載タイプ（100台）

SoftBank

3. 重要カバー基地局のバッテリー容量の大幅強化

24時間以上稼働する基地局を
重要エリアに**2,200局新設**

※ 2012年度中完了目標



4. ネットワークセンターの強化

①重要拠点

6カ所→48時間無停電運転へ

7カ所→72時間無停電運転へ

※ 2013年4月完了予定

②全拠点の耐震性チェック・強化

※ 2012年12月完了予定



SoftBank

5.緊急時・災害時の通信網整備

衛星携帯電話 266台を配備済
(災害発生時のみ利用予定)

※2011年9月配備完了



衛星携帯電話(例)

避難所貸出用携帯電話

3,000台を準備

避難所貸出用PHS

(イエデンワ)

1,200台を準備

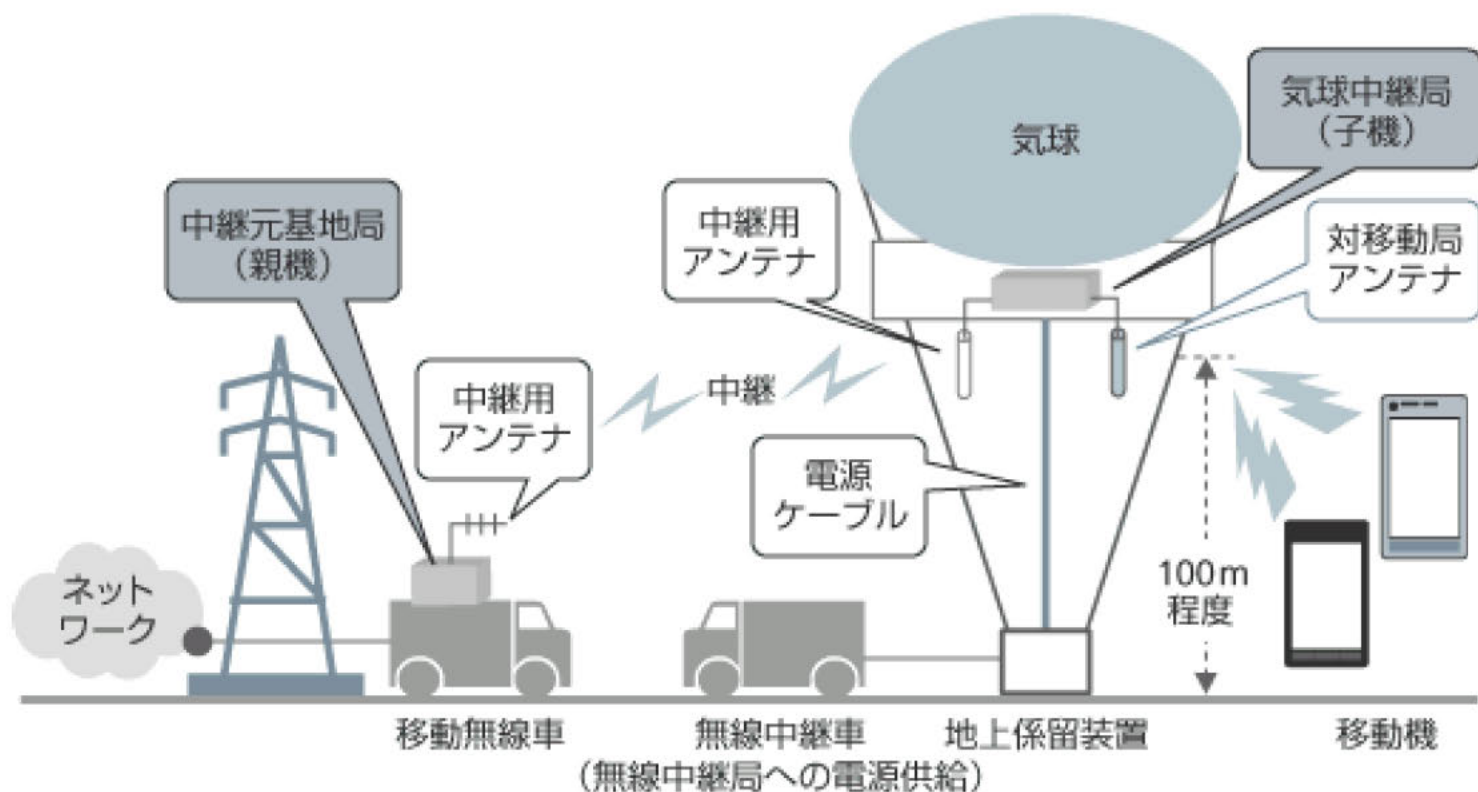
※2012年3月配備完了



SoftBank

6. 災害用 気球基地局の開発実験

災害時に設備復旧が遅れる地域で活用し、通信エリアを確保
災害発生時にサービス提供予定



愛知県稲沢市 木曽川河川敷で2012年5月実証実験実施

SoftBank

目次

①ネットワーク対策について ...2

②被災地支援について ...11

③復興支援財団 ...20

④災害時利用サービス ...27

⑤法人向けBCP対策サービス ...29

被災地支援一覧①

	2011年											2012年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
支援策	iPhoneアプリ「災害用伝言板」提供 ~6/30														
	Wi-Fi無料開放（4/7にエリア縮小、被災地については2012年3月末まで実施）														
	国内SMS無料 ~3/18														
	義援金プロジェクト開始 ~7/31														
	支払期限延長（2月、3月利用分を3カ月延長）														
	修理、故障費用減免 ~9/30														
	②携帯電話機17,000台、充電器30,400個の貸し出し ~2012年3月末まで実施														
	緊急速報メール（「緊急地震速報」「災害・避難情報」）対応機種拡大														
	ショップでの募金受付開始 ~継続中														
	●白戸軒ラーメン約26,000食を日本赤十字社に提供														
避難所182箇所巡回、SBM支援策告知、ブース設置にての臨時相談窓口開設、充電器無償配布、紛失・故障対応用のリサイクル端末163台提供 ~6/30															
新卒採用延期、被災者特別対応実施 ~9/30															

被災地支援一覧②

	2011年												2012年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	4月		
支援策	ヤフーポータルの設置															
	ポイント期限延長(3/11～5/31消滅分を3カ月延長)															
	③ソフトバンクより10億円、孫正義より100億円 寄付															
													①チャリティホワイト 8/1 ～継続中			
	USIM再発行手数料免除 ～9/30															
	水濡れメモリーデータ復旧代金無料化 ～9/30															
	岩手・宮城・福島 の仮設住宅団地 170箇所 (20,259戸)を訪 問。各戸への携 帯相談窓口紹介 告知、電波状況 確認等 10/27～12/12															
	●災害用伝言板サービスの「自動Eメール送信」宛先拡大(3件→10件)															
	●災害用伝言板サービスの登録可能件数拡大(10件→80件)															

●災害用伝言板サービスの「自動Eメール送信」宛先拡大(3件→10件)

●災害用伝言板サービスの登録可能件数拡大(10件→80件)

現在も継続している主な支援

1. チャリティホワイト

2. 携帯電話の貸し出し

3. TOMODACHIプロジェクト

4. 募金・義援金の寄付

(参考) みまもりケータイ

1. チャリティホワイト

月々の利用料支払い時に、
お客様の10円＋ソフトバンクの10円が、
被災地支援団体に送られる仕組み



10万件突破(2012年2月23日)

継続実施中
(2011年6月1日～2014
年3月31日(予定))

facebookでの活動報告

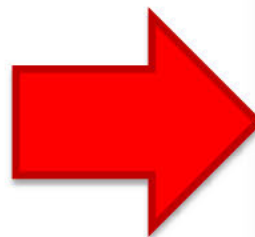


加入件数: 128,670人
累計寄付額※ : 12,272,504円

※1.支援者、累計寄付額は2012/6/3時点 SoftBank

2. 携帯電話の貸し出し

2012年3月末まで実施



公的機関やNPO 法人などに、携帯電話等を無償貸出

2011年3月時点では、携帯電話機
17,000台 充電器30,400台

3. TOMODACHIプロジェクト

今夏実施

被災地の高校生に、カリフォルニア大バークレー校キャンパスで3週間学ぶ
「TOMODACHIサマー2012 ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム」提供

SoftBank



TOMO
DACHI

米国大使館と米日カウンシルの「TOMODACHI」構想に賛同

対象：高校生最大300人

実施時期：2012年夏

支援規模：2億円



4. 募金・義援金の寄付

①お客さまからの募金

企業名	期間	募金金額	主な寄付先
ソフトバンクモバイル株式会社	2011年3月～7月	218,158,515円 ^{*5}	特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム、日本赤十字社 中央共同募金会
ヤフー株式会社	2011年3月～10月	1,435,375,524円 ^{*6}	日本赤十字社、中央共同募金会、岩手県・宮城県・福島県

②ソフトバンクグループからの義援金・支援金

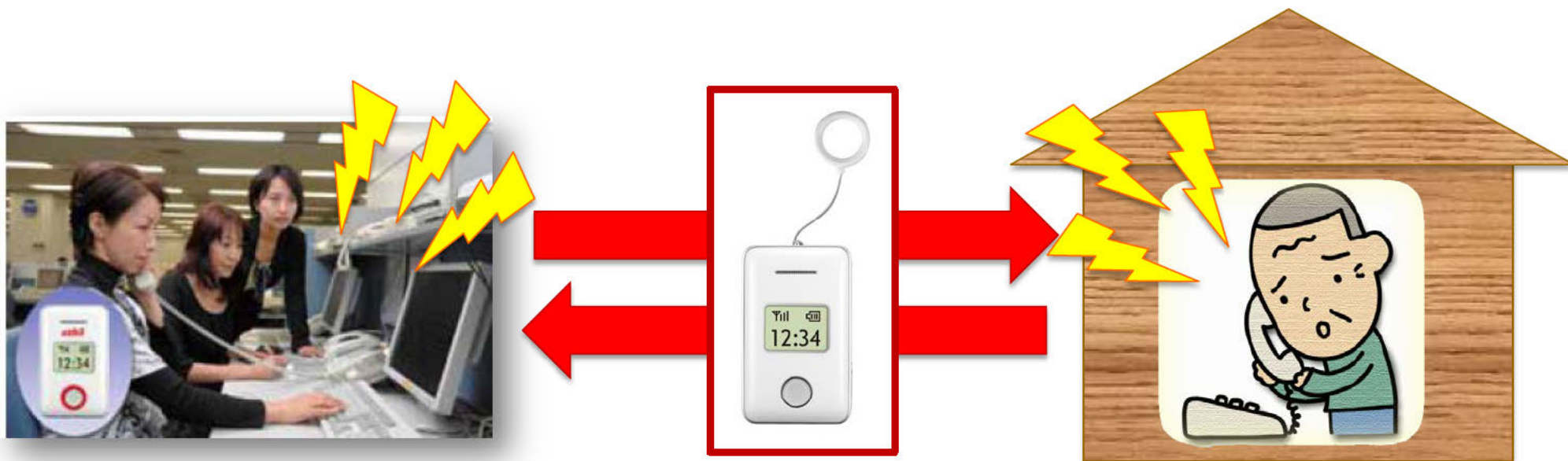
企業名	義援金額	寄付先／内訳	
ソフトバンク株式会社	10億円	日本赤十字社	4億円
		中央共同募金会	4億円
		あしなが育英会	2億円
ヤフー株式会社	3億円	日本赤十字社	1億円
		防災科学技術研究所	1億円
		中央共同募金会	1億円
福岡ソフトバンクホークス株式会社、 福岡ソフトバンクホークスマーケティ ング株式会社	3,500万円	「がんばろう 日本」福岡・九州推進協議会	
孫 正義(個人)	100億円	日本赤十字社	10億円
		中央共同募金会	10億円
		日本ユニセフ協会など	6億円
		被災された地方自治体	34億円
		東日本大震災復興支援財団	40億円
	引退するまでのソフトバンクグループ代表としての報酬全額		

※その他、ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社、株式会社IDCフロンティア、エヌ・シー・ジャパン株式会社、株式会社カービュー、株式会社ベクター、ソフトバンク・プレイヤーズ株式会社からも募金をしました。

(参考)仮設住宅に「みまもりケータイ」

被災地自治体が、仮設住宅へ「みまもりケータイ」を導入。
仮設住宅で暮らす高齢者の「ひきこもり」や「孤独死」を防ぐ。

→2011年8月より、岩手県大船渡市、宮城県岩沼市が導入



発信ボタンを押すと「安全センター」の24時間コールセンターにつながり、看護師が対応。

SoftBank

目次

①ネットワーク対策について ...2

②被災地支援について ...11

③復興支援財団について ...20

④災害時利用サービス ...27

⑤法人向けBCP対策サービス ...29

東日本大震災復興支援財団 支援内容

	2011年												2012年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	4月		
支援策				●6/14設立												

①高校生向け奨学金
11/10発表(支援対象期間2012/4～2015/3)

②NPO団体等への助成
8/1発表(助成対象期間 第1期 2011/10～2012/3)
第2期 2012/4～2012/9)

③NPO各団体と協力し、福島県で実施

一時転居サポート
(助成対象:2011/8/24～2012/10)

生活相談窓口の開設

小学生向け
体験プログラム

中高生への無料
学習支援

発達障がい児向け
学習支援

一時避難支援助成
8/9発表(助成対象期間6/3～1/31)

① 高校生向け奨学金

11/10発表(支援対象期間2012/4~2015/3)

② NPO団体等への助成

8/1発表(助成対象期間 第1期 2011/10~2012/3)
第2期 2012/4~2012/9)

一時転居サポート

(助成対象:2011/8/24~2012/10)

生活相談窓口の開設

小学生向け 体験プログラム

中高生への無料 学習支援

発達障がい児向け 学習支援

一時避難支援助成

8/9発表(助成対象期間6/3~1/31)

③ NPO各団体と協力し、
福島県で実施

③復興支援財団について

1.「まなべる基金」

2.「子どもサポート基金」

3. ふみだすふくしまプロジェクト

公益財団法人 東日本大震災復興支援財団とは

2011年6月、東北の子どもたちの支援を行うため、
孫正義の被災地への寄付100億円のうち、40億円をもとに設立。



1.高校生対象給付型奨学金「まなべる基金」

家庭の経済的事由で、高校への進学・修学が困難になった
東北の生徒を支援

月額2万円、最大3年間支援

奨学生1,209名

支援総額6.9億円



2.支援活動団体向け助成「子どもサポート基金」

被災した子どもの支援活動を行う団体に、活動資金を助成



「ちいさいうち」
(特定非営利活動法人 うれし野こども図書室)



「コラボ・スクール」
(特定非営利活動法人 NPOカタリバ)



「ふくしまインドアパーク」
(特定非営利活動法人 フローレンス)

**第1期と第2期合計で、
総額 約2億円を助成※**

3.「ふみだすふくしま」プロジェクト

**NPOと協力し、未来へ一步を踏み出す
福島の親と子どもを応援するプロジェクト**



- ①「一時転居サポート」 子どもや妊婦がいる世帯に、一時転居資金を助成
- ②「ふみだす生活サポートセンター」 一時転居や生活に関する相談窓口
- ③「ふみだす探検隊」 小学生向けの体験学習プログラム
- ④「ふみだす集中ゼミin会津若松」 中高生向けの受験／学習サポート
- ⑤「ふみだす未来の教室in南相馬」 発達障がいのお子さん向けの学習サポート

目次

①ネットワーク対策について ...2

②被災地支援について ...11

③復興支援財団 ...20

④災害時利用サービス ...27

⑤法人向けBCP対策サービス ...29

災害時利用サービス

●災害用伝言版

iPhone・・・ 2011年3月12日 アプリ提供開始

Android・・・ 2011年6月3日 アプリ提供開始



●緊急地震速報

2011年度下期以降から発売する機種すべて「緊急地震速報」機能を搭載(震災前より準備開始)

<ご参考> iPhoneでの設定方法(iOS5)

「設定」-「通知」-「緊急地震速報」をオン

●災害・避難情報

国や地方自治体が提供する各種緊急情報を、対象エリアの携帯電話に対して一斉配信

2012年1月30日提供開始

●津波警報

2012年中に提供開始予定

●災害用音声お届けサービス

2011年11月28日 携帯/PHS事業者各社で、共通運用するためのガイドライン策定

2012年6月下旬以降に提供開始予定

目次

①ネットワーク対策について ...2

②被災地支援について ...11

③復興支援財団 ...20

④災害時利用サービス ...27

⑤法人向けBCP対策サービス ...29

法人向けBCP対策サービス

韓国・プサンデータセンター新設

韓国KT社と戦略提携
2011年12月竣工



日本国内での災害に対するバックアップとして活用
企業の事業継続(BCP)をサポート